

消費者庁入札等監視委員会 第13回会議 議事概要

開催日及び場所	令和2年12月11日（金） 消費者庁 7-1会議室
委員	井手 秀樹 （慶應義塾大学名誉教授） 五味 祐子 （国広総合法律事務所パートナー弁護士） 竹内 啓博 （公認会計士）
議事	○「エンカル・ラボ in しずおか」の開催・運営等業務 ○個別システムサーバの構築業務 ○2019年度個別システムの更改に係る要件定義書及び調達仕様書等作成業務 ○情報セキュリティ脆弱性外部監査業務 ○SNSを活用した消費生活相談の試験導入・分析業務 ○平成30年度行政機関における公益通報者保護法の施行状況調査 ○全国の子どもの対象とする食品ロス削減の普及・啓発に係る企画・実施業務 ○その他

○案件詳細	
【競争入札】 最低価格落札方式	契約件名：「エンカル・ラボ in しずおか」の開催・運営等業務 契約相手：株式会社サンケイビルテクノ 契約金額：4,840,000円 契約日：令和元年11月27日 担当課：消費者教育推進課 説明内容：一般競争入札（最低価格）を実施し、複数応札となったもの。
【随意契約】 公募	契約件名：個別システムサーバの構築業務 契約相手：日鉄ソリューションズ株式会社 契約金額：12,089,000円 契約日：令和元年12月2日 担当課：総務課 説明内容：公募を行った上で、随意契約となったもの。
【競争入札】 最低価格落札方式	契約件名：2019年度個別システムの更改に係る要件定義書及び調達仕様書等作成業務 契約相手：アビームコンサルティング株式会社 契約金額：9,515,000円 契約日：令和元年11月13日 担当課：総務課 説明内容：一般競争入札（最低価格）を実施し、複数応札となったもの。 契約変更日：令和2年3月13日

<p>【競争入札】 最低価格落札方式</p>	<p>契約件名：情報セキュリティ脆弱性外部監査業務 契約相手：株式会社ファイブドライブ 契約金額：3,582,700円 契約日：令和2年1月29日 担当課：総務課 説明内容：一般競争入札（最低価格）を実施し、複数者の応札があったものの、低価格入札となったもの。</p>
<p>【競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>契約件名：SNSを活用した消費生活相談の試験導入・分析業務 契約相手：公益社団法人全国消費生活相談員協会 契約金額：6,974,795円 契約日：令和元年10月16日 担当課：消費者政策課 説明内容：一般競争入札（総合評価落札方式）を実施したが、1者応札となったもの。</p>
<p>【随意契約】 不落</p>	<p>契約件名：平成30年度行政機関における公益通報者保護法の施行状況調査 契約相手：株式会社都市交流プランニング 契約金額：3,740,000円 契約日：令和元年10月3日 担当課：消費者制度課 説明内容：一般競争入札（最低価格）を実施したが、落札に至らず、応札者と随意契約を行ったもの。</p>
<p>【随意契約】 企画</p>	<p>契約件名：全国の子どもの対象とする食品ロス削減の普及・啓発に係る企画・実施業務 契約相手：全国地方新聞社連合会 契約金額：30,114,893円 契約日：令和2年3月2日 担当課：消費者教育推進課 説明内容：企画競争を行った上で、随意契約となったもの。</p>
<p>委員からの意見 ・質問 それに対する回答等</p>	<p>別紙のとおり</p>

別紙

1. 「エシカル・ラボ in しずおか」の開催・運営等業務	
全国展開している事業者の参考見積を、予定価格の参考にしていることで、予定価格が高くなっているのではないか。	予定価格を適正なものにするため、全国展開している事業者だけでなく、地元の事業者からも参考見積を提供いただけるよう検討していきたい。
本社が東京にある事業者が静岡など地方で事業を実施する場合、自分で対応しているのか。地方に丸投げしていることはないのか。	再委託の申請はなく、自分たちが静岡に出向いて事業を実施している。
富山での開催は、コロナの影響で契約解除しているが、この場合、違約金等はどのように処理しているのか。	契約解除までに事業者が負担した費用、例えば会場のキャンセル料や事務費用について支払っている。違約金は発生していない。
2. 個別システムサーバの構築業務	
もともと消費者庁のネットワークシステム自体を構築している事業者しかできないと思われるが、確認のために公募したということか。ソフトウェア自体のバージョンアップは別ということだが、同時に実施することはできないのか。	基盤そのものの一般競争は難しいが、OS、ミドルウェアのバージョンアップ作業そのものは、オープン系のソフトウェアを利用していることから、システム毎に一般競争できる。
競争性を確保したということか。	然り。
予定価格について、見積りを取って参考にするのではなく、積み上げて積算するのは難しいか。	難しい。事業者の参考見積を予定価格の参考にしているため、価格の妥当性をいかに検証するかが大事になってくる。本件の担当は庁内全体の情報化推進に関わる見積を随時確認する部署であり、また、外部のCIO補佐官もシステムの中身だけではなく、価格の妥当性の検証をお願いしている。
競争性確保のために分けて発注することは理解するが、分割しない方が安くならないか、コスト面だけでも事後検証したらいいと思うがどうか。	検討する。
3. 2019年度個別システムの更改に係る要件定義書及び調達仕様書等作成業務	
なぜ契約変更したのか。	民法改正で瑕疵担保責任の部分の記載を変える必要があったが、統一見解が納期前に出なかったため、納期を遅らせ契約変更を行った。
参考見積の価格と入札価格に差がある。予定価格と作成する際に割掛けを検討してはどうか。	毎回議論になるが、割掛けの真正性の担保が判断できず、今に至っている。
現実的な問題としてシステム関係の調達は下げてくることが多い。少し経年で見て判断するという視点も必要なのではないか。	今回、この価格で受注した事業者が次回、同じ程度の価格で応札するかというと、必ずしもそうはないこともあり、難しい面があるが検討したい。

4. 情報セキュリティ脆弱性外部監査業務	
落札率が 50%未満で、参考見積も非常にばらつきがある案件で、業務品質が大丈夫だったのか確認したい。	価格に比して期待以上の成果が提供されている。
どのぐらいの規模の事業者か。	3、40 名規模で、本件も取締役が担当するなど役員も実働部隊で、割と技術系で固めている事業者と認識している。
今回のように安くて品質のよいサービスを提供してくれる事業者が落札しているのでいい調達だと思うが、価格だけで決めるのではなく企画内容で相手を選ぶ総合評価など検討してはどうか。	システム関連の調達を総合評価で実施するためには、制度上の制約がある。このため、IPA の脆弱性監査の登録制度に登録していることを要件とするなどして、事業者の要件を縛っている。
5. SNS を活用した消費生活相談の試験導入・分析業務	
参考見積は 3 者から提出があったが応札が 1 者だけだった。入札に参加しなかった理由を聞いているか。	参考見積を取得していない事業者も含め 2 者から技術等提案書の提出があったが、1 者は不合格となったため、最終的には 1 者応札となった。参考見積を取得した他 2 者は、業務が多忙等の理由により参加は見送ったことを聞き取った。(後日回答)
6. 平成 30 年度行政機関における公益通報者保護法の施行状況調査	
参考見積を提出したが入札に参加していない事業者に、事情を確認しているか。	確認していなかった。今後、確認するようにした。
7. 全国の子どもを対象とする食品ロス削減の普及・啓発に係る企画・実施業務	
予定価格はどのように作成したのか。	予定価格作成者が広報事業に精通しており、積み上げて作成した。
価格要素なしで選定すると、一般的には大手の広告会社の方が訴求力の強い企画を出してくると思うが、落札した事業者の点数が一番高くなった要因は何か。	普及方法や全体の印象、事業が提案型という点、食品表示の観点を適切に含めている点や YouTube でもともと子供に人気のあるチャンネルを使うなど、訴求力が高かったため評価されたと認識している。